



サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-048

発行 46年6月14日

- 1 標 題 可動風防天井窓追加
- 2 適用機体 FA-200シリーズの機体全機
- 3 適用度 任意事項
- 4 目 的 可動風防に天井窓を新設し、曲技中の上方視界を改善する。
- 5 指 示 可動風防天井に色付ガラスの窓を設ける。
- 6 実施時期 任 意
- 7 承 認 航空局承認済 (NO-東-024) 46.5.19
- 8 所要部品 この作業を行なうには下記の部品が必要です。

部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
200-420005-141	GLASS	1
200-420005-142	GLASS	1
200-420005-119	SUPPORT GLASS	1
200-420005-120	SUPPORT GLASS	1
200-534105-21	COVER	1
200-534105-22	COVER	1
200-420005-33	STIFFENER	1
200-420005-34	STIFFENER	1
F-0486-1200	SEAL	2
F-0486-1000	SEAL	2
EC-1239 TYPE1	Pro SEAL	AR

FAS-048

PAGE1 OF 5

部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
MS20420AD4	R I V E T	A R
MS20600AD4W1	R I V F T	4
セメダイン #540	A D H E S I V E	A R

9 特殊工具 な し

10 重量重心 変化なし

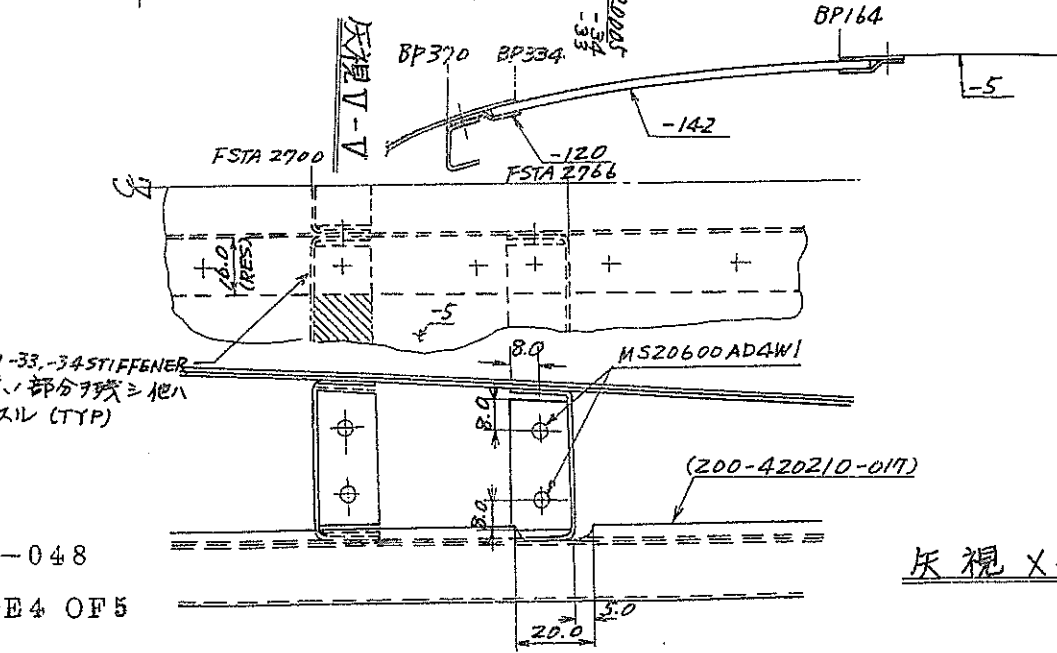
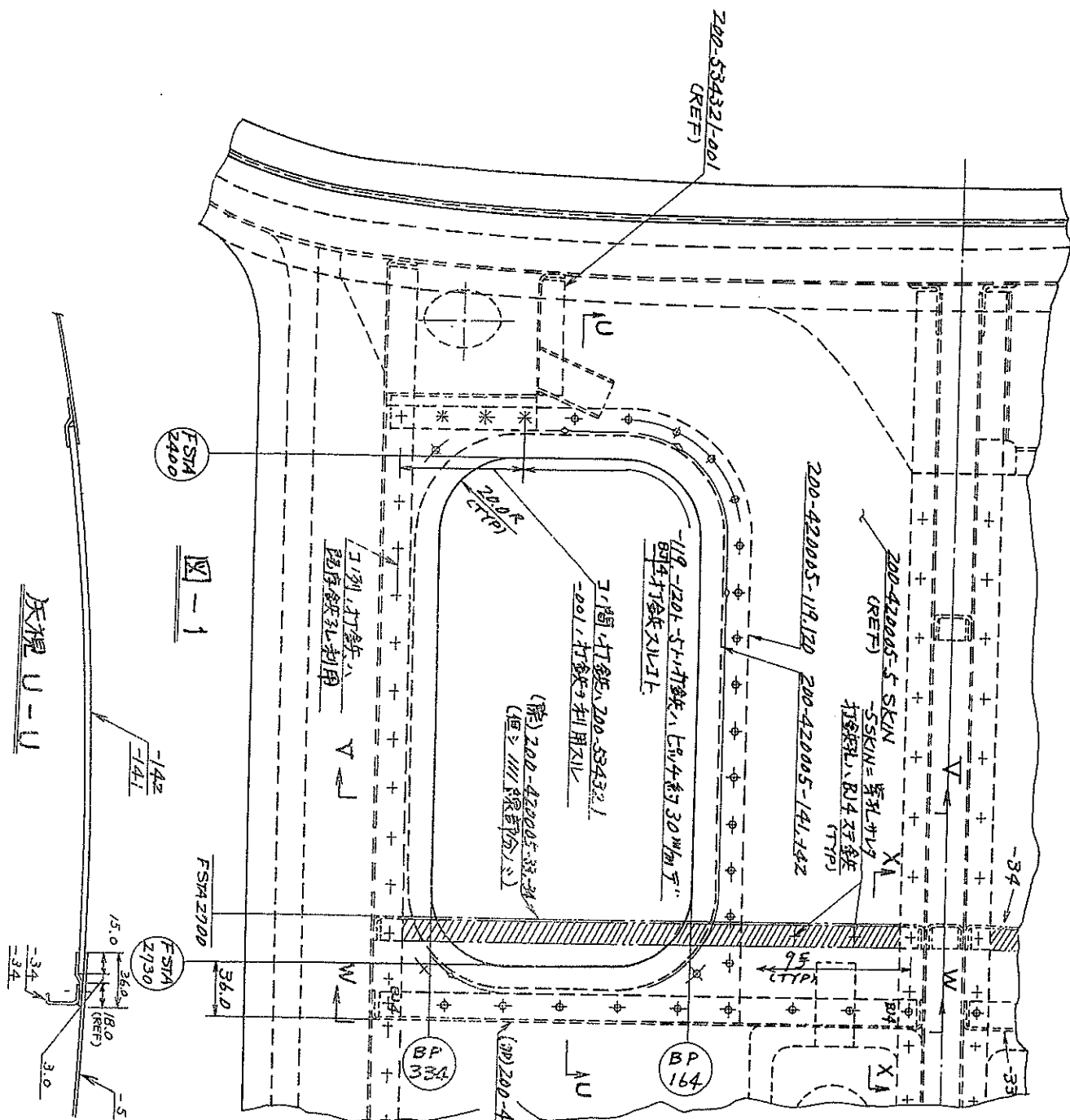
11 準拠資料 な し

12 所要工数 15MH

13 作業手順

- 1 サービスマニュアル項目7-4-1により可動風防組立を取り外す。
- 2 天井部カバーを取り付けているスクリーンを取り外し、天井カバー200-534105-3, -5を取り外す。
- 3 天井部防音材, 200-534102-055, -056各1ヶ, 200-534102-057 2ヶを取り外す。
- 4 天井部外板STA2400~2730, BP164~BP334間左右を「図-1」の寸度で開孔する。
- 5 天井部, STA2700 補強材200-420005-33, -34を「図-1」及び「矢視×-×」で示された斜線の部分の鉄を切り, 切断する。
- 6 「矢視×-×」で示された補強材200-420210-017 を図示の寸度になる様切欠く。
- 7 STA2766の位置(図-1)に前項5の補強材の取付位置と逆向きに補強材200-420005-33, -34を位置決めする。
- 8 「図-1」に於いてブラケット200-534321-001の「米」印の鉄及び, BP370部補強材STA2400~STA2766迄の鉄を切る。
- 9 「図-1」に於てガラス, サポート200-420005-119, -120を位置決めして, 前項8の既存鉄孔を案内として, 又図示された寸度で鉄孔を外板及びガラスサポート, 補強材に穿孔する。

- 10 ガラス，200-420005-141, 142を位置決めし，ガラス・サポートでは
さみ，補強材，ブラケットと共に前項9で穿孔された孔位置に打鉄する。
ガラスの周囲はプロシール，EC1289 TYPE1 でシールする。
- 11 前項7の補強材の未打鉄個所を「図-1」及び「矢視×-×」の要領で打鉄する。
- 12 前項5で不用になつた鉄孔はMS20470AD4でステ鉄する。
- 13 天井カバー，200-534105-3, -5を「図-2」の要領で切欠き，シール
F-0486-1200を接着取り付ける。
- 14 前項位置にカバー，200-534105-21, -22を「図-2」の要領で打鉄取
り付けし，更にシールF-0486-1000を接着取り付ける。
- 15 天井防音材，200-534102-055, -056及び-057を図-3の要領で切
欠く。
- 16 前項の防音材を所定の位置に接着材セメダイン[#]540で取りつける。
- 17 天井カバーを取り付ける。
- 18 風防組立を取り付ける。



灰視 X-X

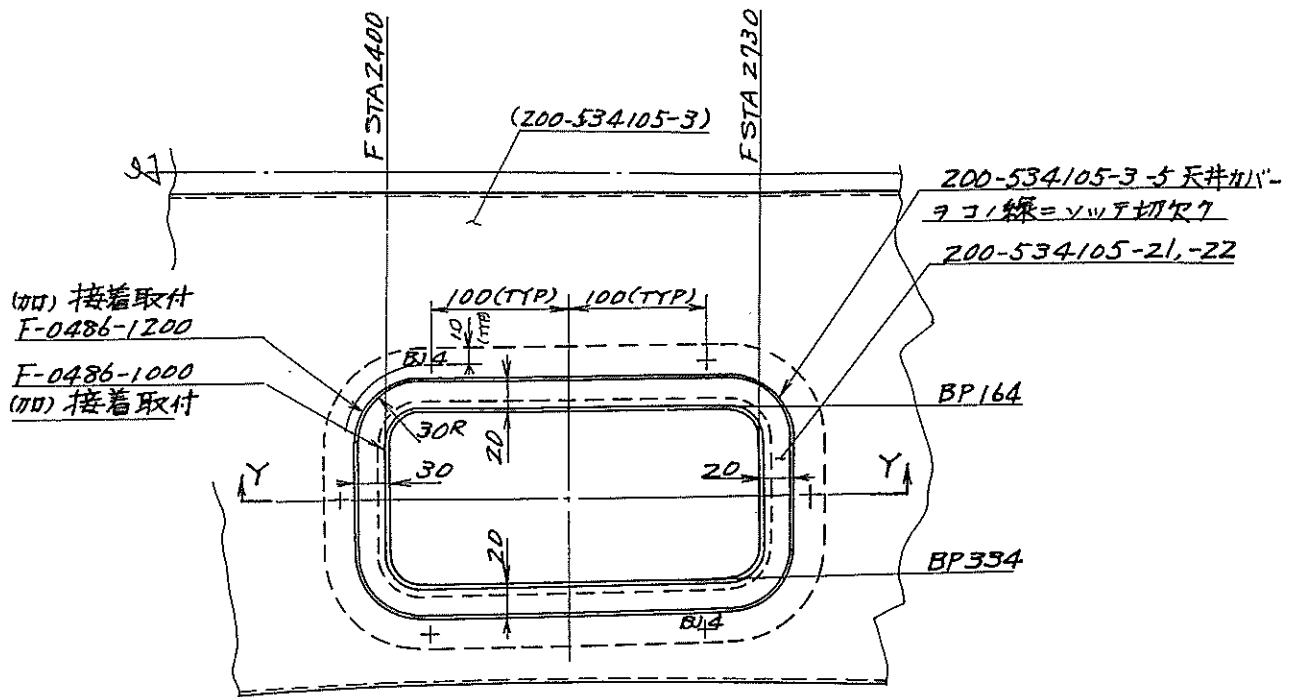


図-2

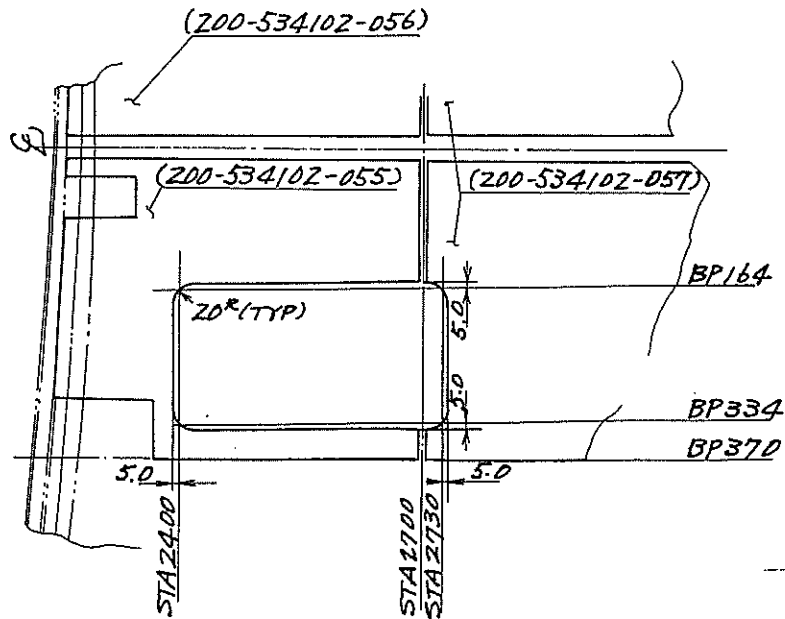
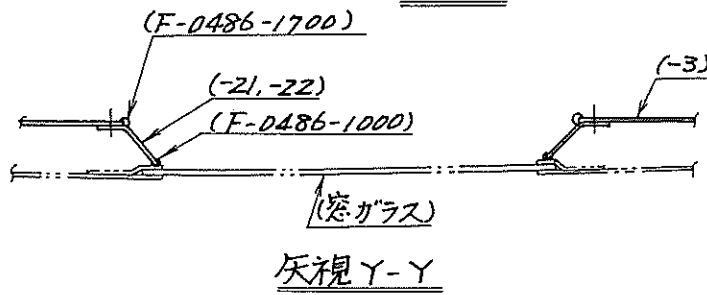


図-3

